

第 11 回北信越錬成大会(全日本弓道選手権大会) 石川県代表選手選考会結果

日時：令和 4 年 5 月 29 日（日） 9：00～12：30

会場：白山市松任弓道場

審判団：水橋会長、川瀬副会長、木下(外)副会長兼理事長、木下(鋼)副会長、宮本副会長兼事務局長

参加者：男性 9 名 女性 7 名 計 16 名

7 月 24 日（日）に新潟県上越市で開催される第 11 回北信越錬成大会の代表選手、男子 5 名、女子 5 名が以下の通りに決定しました。北信越錬成大会（北信越ブロック予選会）において、第 73 回全日本男子弓道選手権大会・第 55 回全日本女子弓道選手権大会の北信越ブロック代表男女 5 名が決定します。

男子

咲川 雅敏 錬士六段（金沢市）
園 悟志 錬士五段（小松市）
曾山 良和 教士六段（中能登町）
中條 大輔 教士七段（羽咋市）
友安 正人 教士七段（金沢市）

女子

木村 洋子 教士七段（津幡町）
越能 公子 教士六段（金沢市）
高尾 和子 錬士六段（野々市市）
中村 裕美 錬士六段（金沢市）
山本真理子 教士七段（能美市）

※五十音順

今年の県予選会参加者は、男子が昨年比△ 1 名の 9 名、女子が昨年比△1 名の 7 名、計 16 名の参加がありました。昨年より微減の参加者となりました。

当日は、立順抽選、弓具検査、開会式とすすみ、その後すぐに男子から予選会が始まりました。男子 2 立、女子 2 立で各自一手 2 回行います。予選は約 1 時間半で終了し、まず男女 2 名の代表が決まり、引き続き決勝を行い、的中上位 3 名が選手となりました。



木下理事長より代表選手の発表と同時に激励の言葉が送られました

まだまだ、まだまだ、まだまだ足りないのではないかと、もっともっと弓と戦って、弓に負けないような離れを出して、その結果が中るのだということを前提に稽古をして欲しい。どうしても的に気が行ってしまい、体の中からの離れが出ていないように感じました。そのような射で全日本選手権に出場するのは間違っているのではないかと思います。大会までにはまだ期間もありますから、このことに留意して、ワンランク、ツーランク上げていくように稽古して欲しいと思います。

最後に水橋会長より講評をいただき閉会となりました。

－講評－

昨年度に県武で行った臨時中央審査で範士全員から「早気は合格しないよ」と言われました。また北信越錬成大会でも審判団の先生方は「早気は点数が低いよ」と言っています。早気では大きな減点となる。体配での注意点も色々ありますが、今は割愛して、まずは早気を克服してください。

1日に何十本も引くことも良いが、2本4本と10秒、15秒と会を頑張ることはできませんか。今回の選考会では会があるといえるのは、男子は9人中4人、女子では7人中1人ぐらいであり、それ以外は大きな減点となっています。入場から退場迄採点されるが、やっぱり中って欲しい、会があつて欲しい、残身の弓返りはきっちり、大きな大文字であつて欲しい。これは3級でも七段でも一緒であり、基本中の基本です。弓は自分との闘いであり、弓と自分と的と対峙して、厳しい修行を毎日のようにしてください。

的に中てようと思わないで、自分自身を大きく、大きく、伸びて、伸びて、というように気合いを入れてください。逆に会を頑張り過ぎて最後にしょんぼりと落ちるような射も良くない。離れた後もさらに残身の身は伸びるというようなことも考えて代表となった選手も、それ以外の方も今日からまた次に向けて頑張つて欲しい。

代表選手と審判団



第11回北信越錬成大会 令和4年7月24日(日) 開催地：新潟県上越市